

## 第42回池田整形外科症例検討会に参加して

飛鳥支部 仲 秀 晃

平成22年6月5日(土)午後3時より北葛城郡広陵町の文化施設、はしお元気村会議室において、第42回池田整形外科症例検討会が開催されました。

この会は、本会顧問医師でもある池田整形外科院長、池田均先生御指導のもと、医師、理学療法士、診療放射線技師、看護師、スポーツトレーナー等、各医療分野で活躍されている先生方の中に我々柔道整復師も参加させていただき、日常診療において難渋している傷病や疾患、疑問に思っている症例を提示し、参加者全員で意見交換しながら治療法を導き出し、明日からの施術の糧とする会です。学生や初めて参加される方も気軽に意見交換ができる雰囲気の良い勉強会です。今回の症例発表は

1)「反復性肩関節脱臼の一症例」

長谷川接骨院 柔道整復師 長谷川正太郎

2)「肩関節拘縮の一症例」

池田整形外科 理学療法士 日 高 瞳

3)「第5腰椎圧迫骨折後、下肢の放散痛が残存した一症例」

東生駒病院 理学療法士 山 本 晃 久

4)「肩甲骨位置異常が改善されない一症例」

池田整形外科 理学療法士 門 林 一 博

5)フリータイム (当日持ち込みの症例や質疑応答)

以上のプログラムにより行われました。

活発な意見交換が繰り広げられる中で特に印象に残ったのは、本会会員、長谷川正太郎氏が提示された「反復性肩関節脱臼の一症例」の中で出された意見で、肩関節脱臼の整復法は多種多様であるが、肩関節専門医も推奨されている Zero Position 整復法は、仰臥位で行うことで患者にリラックスした状態がとり易く、上肢を Zero Position の位置(肩甲骨面で肩甲棘と上腕骨軸が一直線になる位置)まで牽引を加えながら他動的にもって行く事で、腱板及び軟部組織や周囲の筋が整復位に戻そうとする作用が働き、暴力的な整復動作を行わずして比較的安全に整復が出来ると言うものです。昨今、脱臼され来院される症例は減少しておりますが、一層知識や技術を高めたいと再認識いたしました。

引き続き、理学療法士の方の症例提示を聞き、我々と違う見解で治療に当たっておられる事や、我々の業務では触れることのない難治症例に対するアプローチの仕方も勉強する事ができました。

又、フリータイムでは、池田均先生より改めて Zero Position 整復法の注意点や手順を教わる事ができ大変有意義な症例検討会でありました。



# 池田整形外科 症例検討会

平成22年11月27日(土)  
はしお元気村

